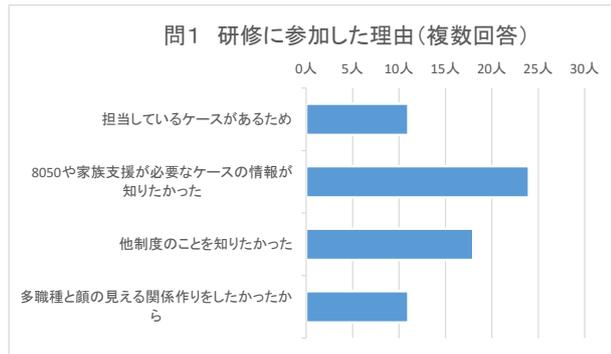


# 令和3年度 地域リーダー研修 アンケート集計結果

開催日：令和3年9月21日(火) 回答数：32人

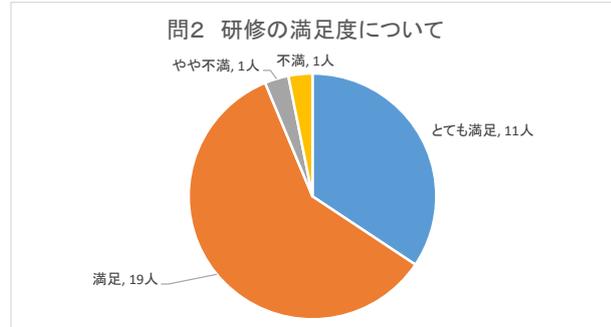
問1 地域リーダー研修に参加した理由をお答えください(複数選択可)

項目	人数
担当しているケースがあるため	11人
8050や家族支援が必要なケースの情報が知りたかった	24人
他制度のことを知りたかった	18人
多職種と顔の見える関係作りをしたかったから	11人



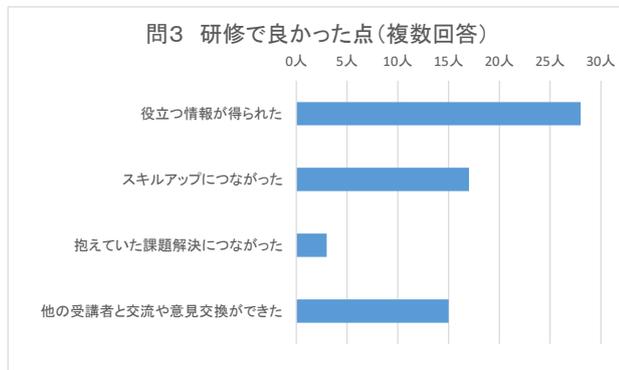
問2 今日の内容全般について、ご満足いただきましたか(4択)

項目	人数
とても満足	11人
満足	19人
やや不満	1人
不満	1人



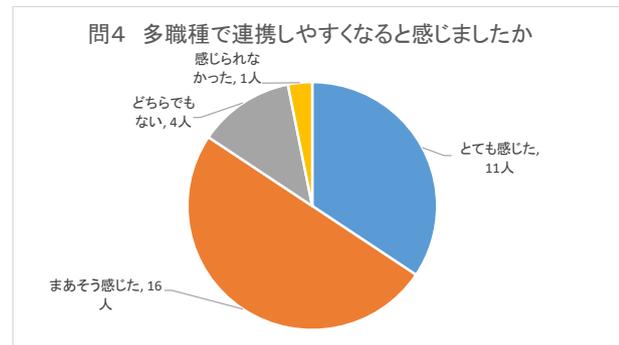
問3 研修で良かった点を選択してください(複数選択可)

項目	人数
役立つ情報が得られた	28人
スキルアップにつながった	17人
抱えていた課題解決につながった	3人
他の受講者と交流や意見交換ができた	15人



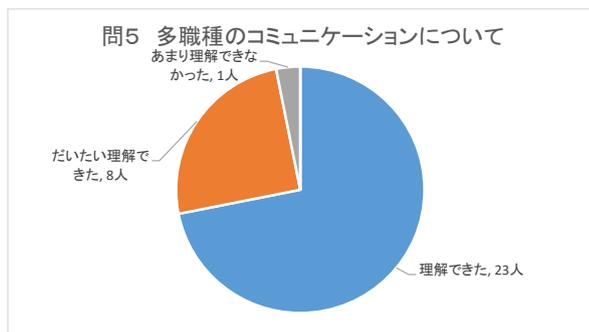
問4 研修受講前と比較して、多職種で連携しやすくなったと感じましたか(4択)

項目	人数
とても感じた	11人
まあそう感じた	16人
どちらでもない	4人
感じられなかった	1人



問5 講義やグループワークを通して、多職種間のコミュニケーションの大切さをどのように感じただかお聞かせください(4択)

項目	人数
理解できた	23人
だいたい理解できた	8人
あまり理解できなかった	1人
理解できなかった	0人



**問6 課題を解決するために、明日からどのように行動しますか。今日の講義やグループワークを通して考えた実践できそうなことを記入してください(自由記載)**

- ・ 8050問題を抱えた事例に対して、接する時に需要的に対応していくことを心がけたい。また、ケアマネジャーと協力して引きこもり対応機関へ繋ぐことを検討すべきだと学んだ。
- ・ 利用者様にとって良い方法を考える又は連携を取る事でより良い方法が見つかりやすくなる事を実感した。
- ・ 情報共有 専門家への相談
- ・ 専門の団体や機関につなぐこと
- ・ 担当しているケースの親御様がまさしく困っておられます。支援は手探りの状態で、包括等へのご相談も拒否されている状態です。自分たちに何ができるのか…。関心を持ち続け、機会あるごとに諦めずに相談することを勧めていきたいと思います。
- ・ 課題をひとりで抱え込まず、まずは然るべき多職種の方に相談する。
- ・ 家族の問題は多岐にわたるため、課題分析を幾度となく続けていく必要を改めて実感。その際の、他者に伝えるための言葉の選択を間違えないようにしたい。
- ・ 民生委員さんへも積極的に声をかけチームに取り入れられるように対応していきたい。
- ・ 地域包括支援センターへ相談させていただく以外にも、茨城県引きこもり相談支援センターの情報を知る事ができ、心強く感じました。今後このようなケースを担当させていただいた際は今までよりも円滑に相談援助に取り組んでいきたいと思います。ご家族に寄り添える支援に努めて行きたいと思います。
- ・ 引きこもりの同居家族がいた場合、CMや市役所との連携を図ります
- ・ 相談する窓口に関心しながら対応したい。
- ・ 情報提供ができるようにできるだけたくさんの方の情報を知る。相談窓口が多少わかったので、相談や連携ができるようにしたいと思います。
- ・ 介護支援の目標・方針をどこに置かかで見えやすくなるように感じたので、焦らずじっくりとかわって行くことの重要性を感じました
- ・ 支援中の自分の態度、目標をどこに置かかで見えやすくなるように感じた
- ・ 相手の立場を理解する努力
- ・ 抱えていた問題だったので、大変参考になりました。直接的には担当している利用者さんのことではなく、家族という間接的には関わらなければならない人に対して、どのように動いたら良いのか、どこにアプローチして行けば良いのか分からずじまいのところでした。繋いで行く窓口を知ることができ参考になりました。ただ、個人情報の取り扱いについて紙で同意を頂いただけでは不安が残ります。特に、障害等のデリケートな面については…。
- ・ ケアマネジャーだけで抱え込まずに専門家と連携して問題解決に取り組んでいきたい。
- ・ 多くのケースが単一の課題だけでなく、複数の複雑に絡み合った課題を抱えている。それぞれの専門分野の方へ繋ぎ、連携して解決を図っていく。相談援助職として相手の心情理解に努め、寄り添った支援を心掛けていきたい。
- ・ 情報の収集
- ・ ひとりで抱え込まないように心がけること。家族を支えるという意識を持って関わること。引きこもり相談支援センターをはじめ、必要な専門機関につなぐことを視野に入れること等。
- ・ 利用者のごことだけでなく、家族のアセスメントも必要だと感じた。また、引きこもりに関して、講師の方が「専門に任せて」とおっしゃってくれたので心強く思った。
- ・ ひきこもりのケースに関わった事が無かった為、今回の研修でひきこもりの方やその家族の心情、置かれている状況などを聞き大変参考になりました。様々な資源や他職種の役割を学びました。ケアマネとしてどうアプローチしていくべきかと置き換えて考えることができました。
- ・ ケアマネジャーを中心に支援を行っていくことには変わりはないが、多職種連携を意識し、抱え込みすぎず、それぞれの強みを活かして支援していきたい。
- ・ 目の前の問題について、解決を急ごうとせず、まずは当事者と十分な信頼関係を作ることに時間をかけても良いということに気づかされた。当事者と多職種の専門家をつなぐことも、CMの役割なので、一人で何とかしようと考えず、いろんな役割の人に協力を求めようと思う。
- ・ 他職種間で情報提供を行うことで横のつながりを作ること。
- ・ 当事者の問題だけでなく、家族全体のバランスを考えて支援していきたいと考えています。
- ・ 当事者の問題だけでなく家族全体のバランスを見て支援していきたいと思います。
- ・ つくば市には相談窓口がいくつもある事を始めて知った。ケアマネが一人で抱え込まずに専門機関へうまく繋ぐ必要がある事。無料で利用できるシェルターやシェアハウスの存在を知れただけでも心強いと感じた。専門職だから感じとる事が出来る「何か変だ」という感覚を大切に、問題が表面化していないからまあいいか いつでも相談に来て下さい。で終わらせないと強く感じた。
- ・ その人の置かれている状況を否定せず 社会資源に繋げていくまでのアプローチは 我々ケアマネ支援業務に大変参考になった。
- ・ 役所の方のお話はいつ聞いても一緒なのと、送信ミスと多すぎませんか？
- ・ 担っている介護の視点だけでなく課題も探り、専門職種に相談していくことができると考えた
- ・ 地域で意見交換し、然るべき相談機関へ繋ぐこと、その相談機関を知ることができた。